



荒川河川敷でボランティアら

# 1000人が清掃活動に汗

毎日新聞富士山再生  
キャンペーン事務局が  
協力する身近な環境ア  
クション・ふるさと清  
掃運動会のメインイベ  
ント「荒川でちょっと  
いいことゴミ拾い」が  
14日、江戸川区の荒川  
・小松川橋下を中心  
川沿い1.5キロの河川  
敷で行われ、約100  
0人が参加した。写真  
真、山田茂雄撮影。  
同実行委員会主催、  
NPO法人荒川クリ  
ンエイド・フォーラム  
共催。17大学30人で作  
る学生ボランティア企  
画集団NUTSが当日  
の事務局作業全般を担  
当した。

午後1時の開会式で  
は呼び掛け人代表の日  
本高野連会長・ボーイ  
スカウト日本連盟理事  
長、奥島孝康さんが「運  
動会のように楽しい一  
日を過ごしてほしい」  
とあいさつ。社員33  
0人が参加した東芝ソ  
リューションの河井信  
三社長は来賓あいさつ  
で「美しい日本を次世  
代に残そうと参加して  
いる。ごみの後進国に  
ならないよう取り組も  
う」と呼び掛けた。ま  
た、歌手の雨谷麻世さ  
んが夢をあきらめない  
趣旨の新曲を披露し、  
盛り上げた。

時折、小雨が降る中、  
清掃活動は約2時間行  
われ、一般読者やくり  
くり少年野球の子ども  
たち、NPO法人富士  
山クラブ、三菱重工業、  
ITスポーツリーグな  
どの参加者が汗を流し  
た。45センチのポリ袋  
換算で金属などの燃え  
ないごみ643袋、紙

美しい日本次世代に残そう

類などの燃えるごみ1  
35袋、ペットボトル  
類142袋を回収。多  
数のタイヤ、テレビな  
ど大型ごみも集めた。  
【真田和義】